REI-SEA

レイシー UV 殺菌灯

UVF-1000 型

取扱説明書

保証書付

（17 ページに記載されています）

※販売店様・・・ご記入をお願いいたします。

⚠ 正しく安全にお使いいただくために、
ご使用の前に必ず取扱説明書をお読みください。

目次

はじめに — 1
安全にお使いいただくために — 1
　取扱説明書に記載する記号について — 1
　お使いになる前に — 2
　運転するときは — 2
製品概要 — 4
システム例 — 4
製造番号および各部の名称 — 5
設置するために — 5
　同梱品の確認 — 5
殺菌ランプの取付 — 6
　取付方法 — 6
殺菌灯本体・電源ボックスの取付 — 7
　取付方法 — 7
配管 — 8
　配管方法 — 8
配線 — 9
　配線方法 — 9
運転するために — 9
　運転の前に — 9
　運転方法 — 10
お手入れのしかた — 11
　本機のお手入れ — 11
　殺菌灯本体について — 11
　殺菌ランプの寿命時間 — 11
　殺菌ランプの交換方法 — 12
　石英保護管の洗浄方法 — 13
メンテナンス・メモ — 13
故障の対処方法 — 14
仕様 — 15
寸法 — 15
保証・サービスについて — 16
修理を依頼される前に — 16
レイシーUV殺菌灯 保証書 — 17

はじめに

このたびはレイシー UV 殺菌灯 UVF-1000 型をお買上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書は、お客様にレイシー UV 殺菌灯 UVF-1000 型を安全で正しくお使いいただくためのものです。本機をお使いになる前には、必ず本書をよくお読みください。

お読みになった後は、本機をお使いになる方がいつでも読むことができるところに大切に保管し、必要なときにお読みください。
本機をゆずられる場合、次に使用される方のために本書を付けておいてください。また、本書を読んでも取扱方法が分からないときには、お買求めの販売店または本書記載の当社にお問い合わせください。

安全にお使いいただくために

取扱説明書に記載する記号について

本書では、特に重要な事項や知っておいていただきたいことを、記号を用いて説明しております。それぞれの記号とその内容は次のとおりです。

警　告　警告事項をまもらないと死亡や重傷に至る重大な事故をおこすおそれがあります。

注　意　注意事項をまもらないとケガを負ったり、製品が損傷をおこすおそれがあります。

アドバイス　製品を使用するうえで、知っておいていただきたいことについて説明します。

お使いになる前に

⚠ 警　告

UVF-1000 型は水産（観賞魚・活魚・水草水槽）専用です。風呂やプール、飲料水など特殊な用途には使用しないでください。

紫外線は目や皮膚に害をおよぼします。
殺菌ランプ（青い光を発する蛍光灯のようなもの）から出る紫外線の光を直接肉眼で見たり、皮膚に当てたりしないでください。

分解したり、改造したりすると火災や感電のおそれがあります。故障したり破損したら、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡してください。
殺菌ランプの交換、石英管の洗浄以外での分解はしないでください。

湯気、ホコリ、油煙の多い場所や熱源の近く、高温（40℃以上）になるところ、またはなるおそれのあるところに置くと、火災や感電のおそれがあります。このような場所には設置しないでください。

水につけたり、表面に水滴の生じるような湿気の多い場所で使うと、感電、ショートや火災のおそれがあります。湿気の多い場所で使わないでください。

電源コードに重いものを乗せたり、加熱、加工、または引っ張ったりすると、電源コードが痛み、感電や火災のおそれがあります。
電源コードは大切に扱ってください。

長時間電源プラグを差し込んだままにすると、ホコリ、ゴミがプラグに付着して火災のおそれがあります。使わないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
また、定期的に電源プラグを点検し乾いた布ややわらかいブラシで清掃してください。

本機の付近に燃えやすいものを置いたり、燃えやすいものの近くに置くと火災のおそれがあります。
本機の近くに燃えやすいものを置かないでください。

運転するときは

⚠ 警　告

本機は交流 100V（50/60Hz）専用です。
交流 100V 以外で使用すると事故や故障、火災のおそれがあります。

煙やこげくさい臭いがしたまま使用すると、火災や感電のおそれがあります。
煙やこげくさい臭いがしたら、すぐに電源プラグを抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。

本体および電源ボックス内に水が入ったまま使用すると、火災や感電のおそれがあります。本機内部（通水部以外）に水が入ったら、すぐに給電しているブレーカーを切って電源プラグを抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電のおそれがあります。
電源プラグを取扱うときは、よく水分をふきとってください。

電源ボックスの通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災や事故のおそれがあります。
通風孔はふさがないでください。

電源ボックスの通風孔などから金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、入れたりすると火災や感電のおそれがあります。
内部に異物を入れないでください。

運転するときは

⚠ 注　意

本体内部には石英ガラス製の保護管と殺菌ランプが使用されています。落としたり、強い衝撃を加えると破損や水漏れのおそれがあります。

安定していない場所や傾いている場所、振動のある場所に設置すると、落ちたり倒れたりしてケガをするおそれがあります。安定した場所にしっかりと設置してください。また、車両・船舶内では使用できません。

本体を立てて取付けする場合には、本体の筒カバー部から出ているコードがかならず上から出るように設置してください。
コードが下から出ていると結露などがランプソケットに入り故障のおそれがあります。

本体および電源ボックスは屋内専用型となっています。
屋内でも雨や雪などのかかるところや湿気の多いところでは使用しないでください。

配管接続部にすき間があると、空気などを吸込んで空運転となり、本体の故障や水漏れのおそれがあります。
接続部のすき間をなくすために、接続部はホースバンドや接着などで確実に固定してください。

口径の合わないホースを無理に接続したり、熱を加えてねじ込むなど無理な接続をするとホースや給排口パイプの破損や水漏れのおそれがあります。
口径の合ったホースを使用し、熱を加えないで接続してください。

高温（40℃以上）の飼育水に使用すると、O リングなどの内部部品が劣化し水漏れや事故のおそれがあります。
高温（40℃以上）の飼育水に使用しないでください。

本体の耐水圧力 0.07Mpa（揚程 7m）以上の圧力で使用すると、破損や水漏れのおそれがあります。0.07Mpa（揚程 7m）以上の圧力で使用される場合は、バルブやバイパス配管で減圧してください。

オゾンや空気などの気泡を含んだ飼育水を本体に通水すると、本体内部の O リングやその他の部品が劣化し水漏れのおそれがあります。
気泡を吸込まないようにしてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込み、延長コードを使用したりタコ足配線はしないでください。感電や火災のおそれがあります。

アースを取付けないで使用すると感電するおそれがあります。またアースを取付けないと、不具合が発生しても漏電ブレーカーが切れないことがあります。
アースはかならず専用アース線に取付けてください。
アースの取付け工事は電気工事店にご相談ください。

漏電ブレーカーを取付けないで使用すると感電のおそれがあります。
市販の漏電ブレーカーを取付けてください。

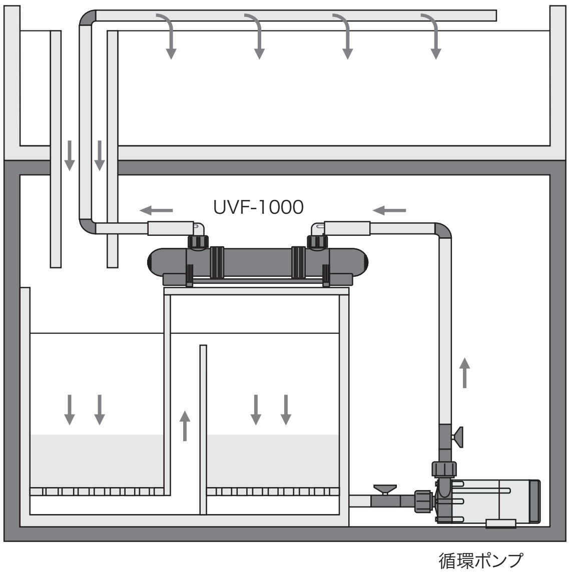
飼育水が循環していない状態で殺菌ランプを点灯すると、O リングや樹脂部品などの内部部品が傷み故障や水漏れのおそれがあります。
飼育水を循環させてから電源プラグをコンセントにさしてください。
※殺菌ランプの予備点灯（10 ページ）時は除く

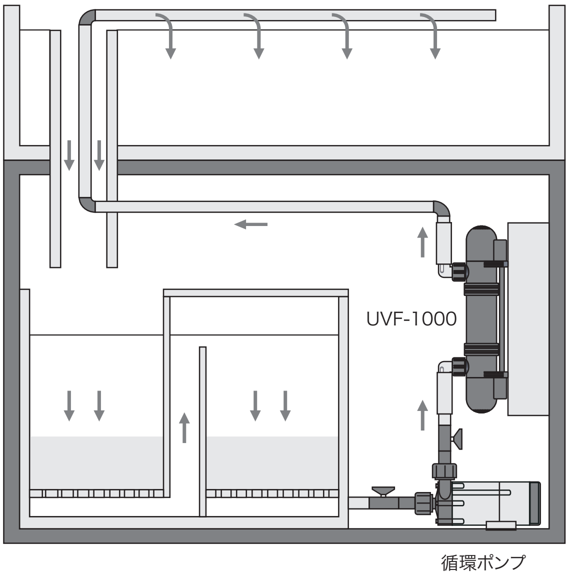
製品概要

レイシー UV 殺菌灯 UVF-1000 型は、UV（紫外線）殺菌ランプを使用した水産（水槽）用に設計された殺菌灯です。
この UV 殺菌灯と循環ポンプを併用することにより、飼育水を循環しながら殺菌することができます。

システム例

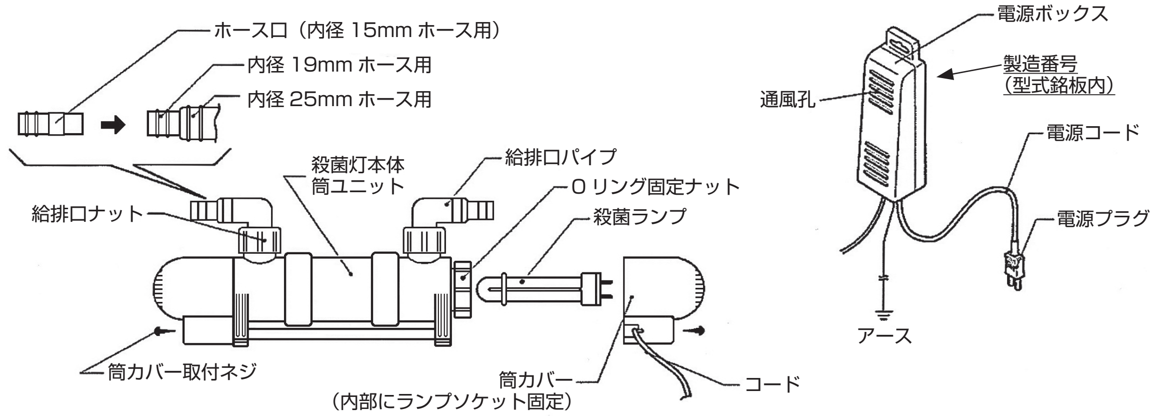
※　循環ポンプ・バルブなどは別売となります。





製造番号および各部の名称

アフターサービスなどについてのご相談に対し的確な判断・処理をするためには、正しい製造番号が必要です。
アフターサービスなどのお問い合わせには、必ず正確な製造番号をご連絡ください。
製造番号は、電源ボックス背面の型式銘版に刻印してあります。



設置するために

同梱品の確認

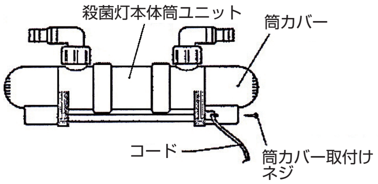
次のものがそろっているか確認してください。
欠品している場合は、お買上げの販売店にご連絡ください。

同梱品	数量
殺菌灯 UVF-1000 型　本体	1
電源ボックス	1
ホース口（内径 15mm ホース用）	2
殺菌ランプ（型式：UVC-250R）	1
電源ボックス取付用 L 字金具	1

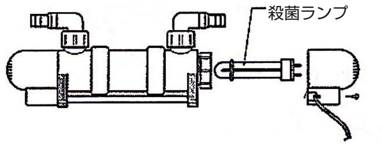
殺菌ランプの取付

取付方法

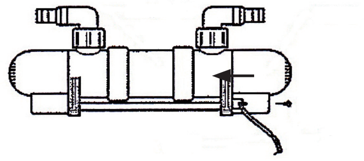
殺菌ランプは梱包箱に同梱されています。本機を設置する前にあらかじめ殺菌ランプを取付けてください。



1. 筒カバー（コードの出ている側）の筒カバー取付けネジをゆるめ、殺菌灯本体筒ユニットから筒カバーを外す。



2. 筒カバーの内部に殺菌ランプソケットが固定されているので、殺菌ランプをしっかりと挿入する。
   ※このとき、殺菌灯本体内部の石英保護管（ガラスの筒）が破損していないか確認してください。破損している際には作業を中止し、お求めになった販売店にご連絡してください。



3. 殺菌ランプを筒カバーに取付けた状態で殺菌灯本体に取付ける。

4. 1.で取り外した筒カバー取付けネジを元通りに締める。

⚠ 注　意

紫外線殺菌ランプが点灯している際の光（青色）は、目や皮膚に害をおよぼします。殺菌ランプ取付け時には絶対に電源を入れないでください。

殺菌灯本体・電源ボックスの取付

取付方法

安全に関するご注意「お使いになる前に・運転するときは」（2～3ページ）、システム例（4ページ）および下図を参照してください。

1. 殺菌灯の取付けに適した環境を選んでください。
2. 殺菌灯本体は水槽の近くの水がかからない場所に置いてください。
3. 電源ボックスは水槽よりも高いところで、湿気や水のかからない場所に付属のフックなどで取付けてください。。また水がコードを伝わって殺菌灯本体や電源プラグ・コンセントに入らないように水切り用のトラップを設けてください。

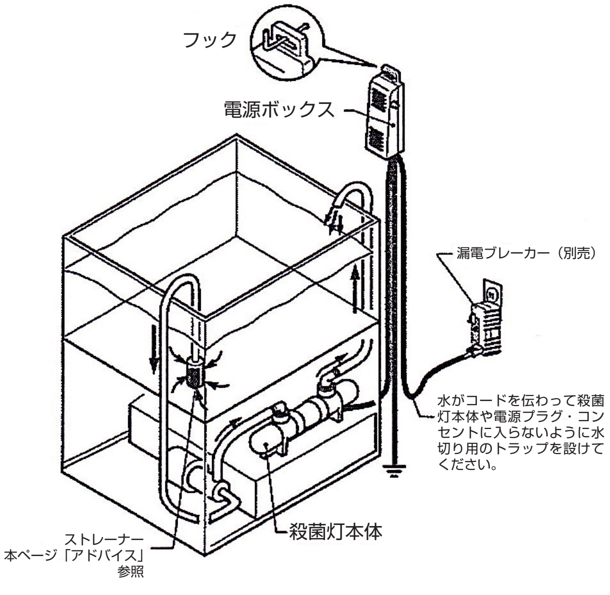
⚠ 注　意

本体を立てて取付ける場合には、本体の筒カバー部から出ているコードがかならず上から出るようにしてください。
コードが下から出ていると、結露などがランプソケットに入り故障のおそれがあります。

アドバイス

殺菌灯本体に飼育水と一緒に砂利や異物が入り込むと、石英ガラス製の保護管が破損することがあります。ポンプの吸込み口側にはストレーナーやフィルターを設けると砂利や異物が入り込むのをを軽減することができます。

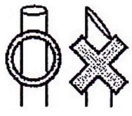
●取付例

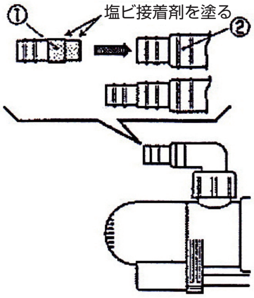


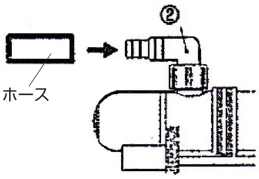
配　管

配管方法

安全に関するご注意「お使いになる前に・運転するときは」（2～3ページ）および左図を参照してください。







1. 配管用ホース（内径φ15・φ19・φ25）のいずれか）を準備する。

2. ハサミなどを使って、ホースの先端を平らにする。

3. <u>※内径φ15のホースの場合</u>
付属のホース口①を給排口パイプ②に塩ビ接着剤（市販品）で接着します。このときホース口の向きに注意してください。
ホース口①の接着が不十分ですと水漏れします。確実に接着してください。

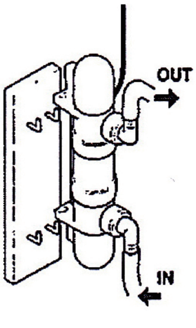
4. <u>※内径φ19・φ25のホースの場合</u>
付属のホース口①は使用しません。給排口パイプ②にホースを差し込み、ホースバンドや接着などで固定します。

⚠ 注　意

ホースや配管によって殺菌灯の接続部に負荷がかかった状態で使用すると、緩んだり抜けたりして水漏れがおこることがあります。ホースや配管はしっかり固定し、殺菌灯の接続部に負荷がかからない状態で使用してください。また、状況によっては支持をとってください。

アドバイス

ホースは耐食性があり使用温度、ポンプ圧力に耐えられるものを使用してください。
別売にて、レイシーホース1520（内径φ15/外径φ20）、1925（内径φ19/外径φ25）を販売しています。



アドバイス

殺菌灯を立てて取付けた場合は、下側の給排口パイプから給水（IN）してください。

配　線

配線方法

安全に関するご注意「お使いになる前に・運転するときは」（2〜3ページ）を参照してください。

1. 電源ボックスから出ているアース線（緑色の配線）を接続する。

2. 漏電ブレーカー（別売）を取付ける。

⚠ 注　意

アースを取付けないで使用すると感電するおそれがあります。またアースを取付けないと、不具合が発生しても漏電ブレーカーが切れないことがあります。
アースはかならず専用アース線に取付けてください。
アースの取付け工事は電気工事店にご相談ください。

⚠ 注　意

漏電ブレーカーを取付けないで使用すると感電のおそれがあります。
市販の漏電ブレーカーを取付けてください。

運転するために

運転の前に

クーラーを運転する前に、もう一度各部を確認してください。

1. 配管が正しくなされているか。
   安全に関するご注意／お使いになる前に・運転するときは（2〜3ページ）および配管方法（8ページ）をよくお読みになって、正しい配管をおこなってください。
2. 給排口パイプとホースや配管にゆるみがないか。
   ホースバンドや接着などで確実にホースを固定し、給排口パイプも本体とゆるみがないか確認してください。
3. 飼育水の温度が40℃以上になっていないか。また、周囲温度が40℃以上になっていないか。
4. 循環ポンプは正しく取付けられているか、また循環する際に殺菌灯本体の耐水圧力（0.07Mpa）以下になっているか。

運転方法

9ページ「運転の前に」の内容を確認後、下記要領にて運転してください。

1. ご使用になる循環ポンプの取扱説明書にしたがって、循環ポンプの運転をおこなう。

UVF-1000 型に推奨するレイシーポンプ
P-425,450 型 RSD-40,50 型 RMD-201,301,401,551 型

※本機の適合ポンプ流量は、20 ～ 40 ℓ /min になります。上記の推奨ポンプでも、水槽システムの配管状況によっては適合ポンプ流量と耐水圧力（0.07Mpa）を超えることがあります。その場合、バルブやバイパス配管などを使用して殺菌灯本体に通水する流量・圧力を調整してください。

2. 飼育水が循環していることを確認する。（ポンプが運転をおこなっていて、水槽の配管出口から水が出ているか）

3. 電源ボックスから出ている電源プラグを電源コンセント（交流100V）に差込む。

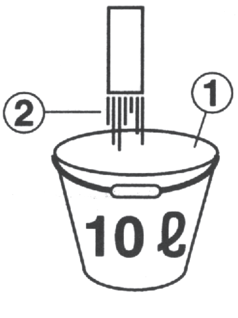
4. 給排口パイプ（半透明の灰色）が青く光っているか確認する。青く光っていれば殺菌ランプは点灯しています。

⚠ 注　意

殺菌灯本体の吐出口から先の配管にバルブなどを設置して流量を制御する場合、ポンプが循環している際にバルブなどを急に閉じると、水圧が異常に上がり殺菌灯本体の破損や給排口パイプが外れることがあります。
流量の制御は徐々におこない、適合ポンプ流量の範囲に調整するためにバルブを閉じた状態で耐水圧力（0.07Mpa）を超えないようにしてください。

☞ アドバイス

本機の周囲温度が低いとき（約 10℃以下）は、殺菌ランプが点灯しない場合があります。この場合、通水する前に予備点灯（電源を入れランプが点灯するのを確認）をおこなってください。



〈参考〉適合ポンプ流量の確認

1. バケツなどの 10 ℓ入りの容器①を用意する。
2. 殺菌灯本体の吐出口から出た水②を容器に入れ、1 分以内にバケツが満水になるようポンプからの流量を確認する。
   10ℓ入り容器が1分で満水になれば10ℓ/min、30秒で満水になれば20ℓ/min位です。
3. ポンプの流量を確認後、ポンプと殺菌灯本体の配管をもう一度行う。
4. 水が確実に循環しているか、水漏れがないかどうかチェックをする。

お手入れのしかた

本機のお手入れ

本機のお手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。また、ホースも外してください。

殺菌灯本体の汚れを落す際は、やわらかい布でからぶきしてください。汚れが落ちにくい場合は､水またはぬるま湯を少量しみこませた布でふきとってください。
電源ボックスの汚れは柔らかい布でからぶきしてください。
腐食性のある液体（海水等）が付着した場合は、こまめに清掃をおこなってください。また頻繁に腐食性のある液体が付着する場合は付着しないよう防護するなどの対策をおこなってください。

⚠ 注　意

殺菌灯本体の汚れを落す際に、ベンジン、シンナー、灯油、みがき粉、非中性洗剤などを使用すると、製品をいためるおそれがあります。水またはぬるま湯以外は使用しないでください。

定期的な部品の交換

殺菌灯本体筒ユニット、給排口パイプ、給排口ナット、O リングなどは消耗部品になります。長期間使用すると紫外線の光や周囲環境（温度・湿度）により劣化します。
定期的に点検し、劣化がある場合には部品を交換してください。

殺菌ランプの寿命時間

型　式	殺菌ランプ型式	グローランプ	寿命時間
UVF-1000 型	UVC-250R	な　し	約 8,000 時間

※　連続点灯時の推定寿命となります。頻繁な ON/OFF は寿命の短縮に影響します。
※　殺菌ランプは消耗品です。寿命時間前に型式に合ったランプと交換してください。
※　殺菌ランプの交換方法は 12 ページをご参照ください。

⚠ 警　告

当社純正品以外のランプを使用すると、発熱や故障のおそれがあります。交換の際には、かならず純正品をご使用ください。

殺菌ランプの交換方法

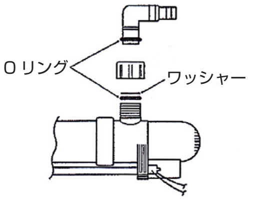
⚠ 注　意

殺菌ランプの光（紫外線（青色の光））は目や皮膚に有害です。点灯している殺菌ランプを直視することは絶対にしないでください。かならず電源を切ってから下記の交換作業をしてください。
また、殺菌ランプと石英保護管は衝撃に弱いのでていねいに扱ってください。落としたり、ほかの部品と接触させると破損するばかりでなく、ケガのおそれがあります。

---

1. 循環ポンプと本機の電源プラグを抜き、電源を切る。
2. 循環ポンプと本機が停止しているか確認する。

3. 図解（構造）

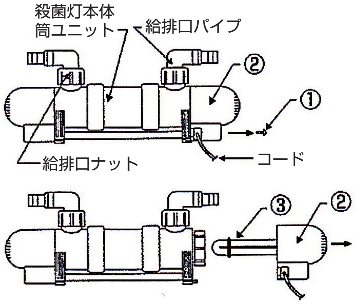


3. 殺菌灯本体の場所によっては、配管または給排口ナット2コを反時計方向に回して外す。このとき配管内および石英保護管内の水の流出に注意し、こぼれた水はふき取る。

※ 配管または給排口ナットを外す必要がない場合は4.へ

4. 殺菌灯本体を傾けて、本体内の水を抜き取る。

5.



5. コードの出ている側の筒カバー取付けネジ①を＋ドライバーを使って外し、筒カバー②を殺菌灯本体筒ユニットから外すと、殺菌ランプ③は筒カバー②といっしょに外れます。

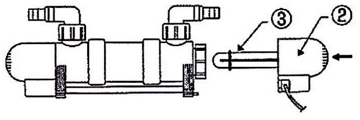
※ 筒カバー②を外すときには、水平に引き出してください。ななめに引き出すとランプや石英保護管の破損のおそれがあります。

※ このとき、石英保護管（ランプの外側を包んでいるガラス管）の外壁が水あかなどで汚れていないか確認してください。汚れている場合は、13ページ「石英保護管の洗浄方法」もおこなってください。

6. 殺菌ランプを筒カバーについているソケットから抜き、新しいランプと交換する。

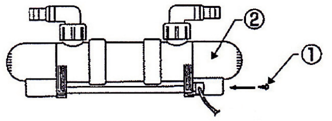
※ 殺菌ランプはソケットの奥までしっかりと差込んでください。

7.



7. 殺菌ランプを筒カバー②に取付けた状態で殺菌灯本体に取り付ける。

8.

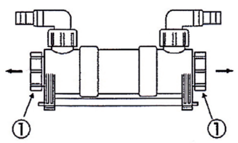


8. 筒カバー取付けネジを締める。

石英保護管の洗浄方法

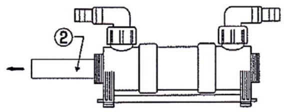
1. 12ページの「殺菌ランプの交換」と同じ要領で給排口パイプ、殺菌ランプおよび筒カバー2コを外す。

2.



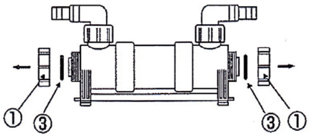
2. Oリング固定ナット①2コを反時計回りに回して外す。

3.



3. 石英保護管②を抜取り、水またはぬるま湯で洗浄し、やわらかい布で拭く。

4.



4. 洗浄後、逆の手順で下記に注意しながら組立てる。

●Oリング③にキズや劣化があるときは新しいOリングに交換（別売）する。
●Oリングの入れ忘れ、かみ込みのないようにする。
●ナットとネジ部はよく合わせてからゆっくりと左方向に回してねじ込む。このとき、あまり強く締めすぎないようにする。Oリングの防水効果が低下し、水漏れのおそれがあります。
●ナットを締め込む際の石英保護管の左右の出っぱり具合は左右均等とする。

メンテナンス・メモ

交換や洗浄の日付を記入しておくと、次回メンテナンスの目安となります。

●殺菌ランプ交換日

使用開始	/　　/
1 回目交換	/　　/
2 回目交換	/　　/
3 回目交換	/　　/
4 回目交換	/　　/
5 回目交換	/　　/

※殺菌ランプの連続点灯時の推定寿命は約 8,000 時間となります。

●石英保護管洗浄日

1 回目洗浄	/　　/
2 回目洗浄	/　　/
3 回目洗浄	/　　/
4 回目洗浄	/　　/
5 回目洗浄	/　　/

故障の対処方法

本機のご使用中に異常が生じた場合、お使いになるのをやめ、次の表で故障原因を確かめてから、お求めになった販売店にご相談ください。

⚠ 警　告

本機を分解したり、改造したりすると火災や感電のおそれがあります。
故障したり、破損したら、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。
殺菌ランプの交換、石英保護管の洗浄以外での分解はしないでください。

状　態	考えられる原因	対処方法
殺菌ランプが点灯しない	●電源プラグがコンセントから抜けている。 ●殺菌ランプがソケットから外れている。 ●殺菌ランプの寿命。	●電源プラグにコンセントを差込む。 ●殺菌ランプをソケットに取付ける。 ●殺菌ランプを交換する。
殺菌ランプが点滅する	●殺菌ランプの寿命。	●殺菌ランプを交換する。
水が漏れる	●各部の O リングが外れている。 ●各部の O リングが劣化している。 ●各部の樹脂部品が劣化している。	●各部の O リングを取付ける。 ●各部の O リングを交換する。 ●各部の樹脂部品を交換する。

定期整備のおすすめ

■通常に使用している場合でも、本機内部の汚れにより性能が低下する場合があります。故障の原因になる場合もありますので、1 年に 1 回、定期点検をしてください。
■通常のお手入れとは別に、専門家による点検整備をおすすめします。費用などの詳細は、購入された取扱店にご相談ください。3 年以上ご使用の場合は、専門家による整備をおこなってください。

補修用性能部品の最低保有期間

■本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後 5 年間です。
■性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

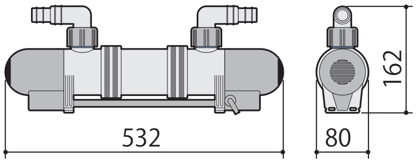
仕様

型式	UVF-1000
定格電圧	AC（単相）100 V
定格周波数	50/60 Hz 共用
定格消費電力	23 W
殺菌ランプ	オゾンレス石英放電管（U 字管）
殺菌ランプ消費電力	15 W
紫外線波調	254nm
紫外線照射度	22,000 μ W/ ㎠
適合水槽容量	1,000 ℓ 以下
適合ポンプ流量	20 ～ 40 ℓ /min
使用水温度	3 ～ 40℃ 注：周囲温度が 10℃以下の場合はランプが点灯するまで予備点灯してください。
ホース口径（適合ホース）	内径φ 15/ φ 19/ φ 25 の 3 種類使用可能
硬質塩ビ配管口径	塩ビパイプ VP13
電装部ヒューズ	1A
電装部温度保護	バイメタル式
標準付属品	ホース口：2 コ　殺菌ランプ：1 本 電源ボックス取付金具 L：1 コ

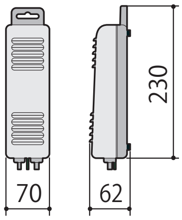
●上記の紫外線照射度は殺菌ランプの中央管壁 0 ㎝での値です。
●適合水槽容量は水槽内の条件によって異なります。
●紫外線は直接裸眼で見たり、皮膚に当てないようにしてください。
●通水時以外での殺菌ランプの点灯は避けてください。（予備点灯時のぞく）

寸法 (mm)

殺菌灯本体



電装ボックス



保証・サービスについて

1. 保証について

保証書の「お買上げ日」「販売店名」など所定事項の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みになった後、大切に保管してください。なお、保証書の再発行はいたしませんのでご注意ください。保証書は明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。保証期間経過後の修理については下記の「2. 保証期間中の範囲と修理」の項をご参照ください。

2. 保証期間中の範囲と修理

1）保証期間は納入の日から 1 年間です。

2）保証期間中に、正常なご使用にもかかわらず弊社の製作上の不備により故障や破損が発生した場合には、当製品の故障・破損箇所を無料修理させていただきます。

3）次の原因による事故・破損の修理および消耗品の交換は有料とさせていただきます。

●保証期間満了後の故障・破損。

●正常でないご使用または保管による故障・破損。

●弊社指定以外の部品をご使用の場合の故障・破損。

●火災、天災、地変などの災害および不可抗力による故障・破損。

4）お客様よりご指定の規格または材料を用いた製品が故障・破損などを生じた場合、弊社ではその責に応じられませんのでご了承願います。

5）取扱い液の科学的もしくは流動的な腐食、液質による異変・故障に対しては、弊社では補償いたしかねます。ご契約の際、弊社にて選定した材質については、推薦できる材質を意味し、その材質の腐食性等を保証するものではありませんのでご了承願います。

6）故障・破損の判定に疑義が生じた場合は、お客様と弊社との協議の結果によるものとします。

7）ご使用中に発生した故障に起因する諸費用その他の補償はいたしかねますので、ご承知おき願います。

3. 修理について

ご使用中に異常を感じたときには、ただちに運転を停止して故障か否かをご点検ください。（「修理を依頼される前に」の項をご参照ください。）

1）修理を依頼される前に、再度この取扱説明書をよくお読みになり再点検してください。

2）修理の際は、お求めになった販売店にご相談ください。

3）ご贈答、ご転居などでお求めの販売店にご依頼できない場合は、直接弊社にご相談ください。

4）誤った修理は、火災や感電などの危険な事故につながります。ご家庭での分解修理は絶対に行わないでください。

修理を依頼される前に

■ 本機は、全てメーカー預かり修理となり、訪問修理は致しません。

本機をお預かりした時点で点検・修理見積料が発生しますので、あらかじめご了承ください。

お預かりしたクーラーは修理しない場合に限り、点検・修理見積料を請求させていただき、現品はお客様宛返却とさせていただきます。

また、修理見積後 3 週間たっても何らご回答がない場合には、修理しないものとして返却させていただき、点検・修理見積料を請求させていただきます。

レイシー UV殺菌灯　保証書

型式	UV 殺菌灯 UVF-1000	製造番号	
販売店様・・・製造番号の記入をお願いいたします。製造番号は電源ボックス底面の型式銘板に記入されています。			
お客様	お名前 ご住所　〒 電話　（　　　　　）		
お買い上げ日 年　　月　　日	販売店名 住所 電話	印 またはサイン	
保証期間 お買い上げの日より１年間			

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、本保証書を提示いただくことにより１年間無償修理いたします。
ただし消耗品の交換（定期的に交換が必要な部品を含む）は有償となります。

2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）ご使用上の誤り、および弊社指定品以外の部品の使用、弊社指定以外の修理や改造による故障および損傷
（ロ）水でぬらした場合の故障
（ハ）お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下などによる故障および損傷
（ニ）火災、地震、ガス害、塩害、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
（ホ）保証書がない場合
（ヘ）保証書のお客様名、お買い上げ日、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き替えられた場合
（ト）保証書に販売店の捺印またはサインがない場合
（チ）正常なご使用方法でも消耗部品が消耗、摩耗、劣化した場合
（リ）本製品に接続している当社指定以外の機器に起因する故障および損害
（ヌ）当社出荷時の科学・技術の水準では予見できなかった事由による場合

3. 次の場合については補償いたしませんので、あらかじめご了承ください。
（イ）魚など生体の病気や死亡、水草などの枯れについて
（ロ）ご使用中に発生した故障に起因する種々の費用その他の損害
（ハ）浴槽など人体に関係するようなご使用による事故および損害
（ニ）取扱上における化学的もしくは流体的、気体的な腐食による故障および損傷

4. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。　Effective only in Japan.

※アフターサービスのご連絡は、購入された販売店にお問い合わせください。

株式会社 イワキ
IWAKI PUMPS

SAMPLE

製造元：株式会社広田製作所

株式会社 イワキ 東京支店２部４課 レイシー担当

http://rei-sea.iwakipumps.jp/

IWAKI REI-SEA

関東地区・甲信地区・静岡・愛知・三重・岐阜
TEL 03-5825-2141 FAX 5825-2144
〒101ー0031
東京都千代田区東神田2丁目5-15 住友生命東神田ビル11F

地区	拠点	TEL	FAX
関西地区	大阪支店	06-6943-6444	6920-5033
九州·沖縄地区	九州支店	093-541-1636	551-0053
東北地区	仙台支店	022-374-4711	371-1017
中国地区	広島営業所	082-271-9441	273-1528
北陸地区	新潟営業所	025-284-1521	282-2206
四国地区	高松営業所	087-834-2177	863-3205
北海道地区	札幌営業所	011-704-1171	704-1077

⚠ 安全に関するご注意

●ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。 ●本書に掲載の図・イラストは実際のものと多少異なります。また、性能・寸法・価格なども改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。 ●万一の漏電災害を未然に防止するため、漏電ブレーカーを必ず別途ご購入のうえお取り付けください。 ●電源プラグ・コードは、ていねいに取扱ってください。また、コードを切ったり、延長するなどの改造は絶対にしないでください。火災や故障などの原因となります。改造した場合の保証は一切いたしません。

⚠ 永年ご使用の機器の点検を！

こんな症状はありませんか？

●電源を入れても動かないことがある。
●コゲくさい臭いがする。
●電源コードが異常に熱い。
●水漏れや異常音がある。
●漏電ブレーカーがひんぱんに落ちる。
●その他の異常や故障がある。

▶ 故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。3年以上ご使用の場合は、専門家による整備を行ってください。

⚠ 輸出に係るご注意

本製品は日本国内用に設計されています。国外でのご使用は保証いたしかねます。本取扱説明書における使用の技術に関しては、外国為替令別表に定められた役務取引許可対象技術のいずれかに該当いたします。輸出または国内であっても輸出に係る提供の際は、経済産業省の役務取引許可が必要となる場合がありますのでご注意願います。

This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

T798-2 14/02